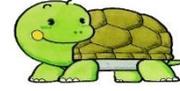


# 校報かめのこ

福生六小ホームページ <http://fussa-6e.hs.plala.or.jp/>

か	考える子
め	めげない子
の	伸びる子
こ	心豊かな子



## 品が無い

福生市立福生第六小学校

統括校長 榎並 隆博

どうも最近「品が無い」など思うことが多い気がします。別に自分自身を「品がある人？」とは思っていませんが、もう少し違う言い方が無いのかなとか、そこまでしなくてもいいのになと思うことがよくあります。具体的に一つ一つを挙げると意見の相違を生みそうなので、控えますがあまり心地よくありません。

一番多いのは SNS に投稿される内容でしょうか。誰かの意見に対して反論するのはよいと思うのですが、その言葉遣いが「下品」なことが多いです。言葉遣いが「下品」なせいで、反論の内容は的を射けても、素直に聞き入れることができません。

若かりし頃の私は比較的短気な性格で、納得いかないことがあると、黙っていられず他人とぶつかることが多くありました（今は少し気長になりました？）。自分でも自覚していた部分があるので、少しでも短気を起こさないために工夫していたことがあります。それは人から好みを聞かれたときに、まともに答えないということです。好きな芸能人は？好きな歌は？好きな食べ物は？と気軽に尋ねられることがありますが、実際は好みがあっても答えないようにします。なぜかというそれは小学生の時の経験からきています。

小学校時代は大阪で過ごしていましたが、私は大の巨人ファンでした（これもあまり言わないようにしています）。大阪は比較的阪神ファンが多いと思われがちですが、意外にそうでも無く、当時の私のクラスはその数が拮抗していました。前日の試合結果で多少のいざこざも日常茶飯事です。そんな中、ある日突然一人の子が自分は中日ファンだと宣言しました。プロ野球といえば巨人か阪神の二択しかないと考えていた私たちは、彼の宣言に驚いたのですが、その日から始まったのが今でいういじめのようなものです。「あんなチームのどこがいいんだ？」「中日が好きなんて変なやつ」と、クラスの多くがからかうというよりは、本当に不思議に思って口に出し始めたのです。言われた本人はきつといやな思いをしていたと思いますが、めげる事無く、中日の応援歌を覚え声高らかに歌っていました。彼が歌った「一番高木が塁に出て・・・」という歌詞は今でも頭に残っています。

自分の好みを表明しただけでもめ事が起きるなら、そうでなくてもカッとしやすい私は、言うのをやめようと思ったのです。そしてこのことは今でも続けていますし、同じ理由で SNS はやりません。

「品が無い」と人から思われがちなのは、ネットで検索すると種々挙げられています。これも具体的に挙げると意見の相違を生む可能性が無くはないのが今の時代ですので控えますが、どのページを読んでも共通している内容がありました。それは「品が無い」人にならないためには、幼少期からの教育が大事だそうです。